

野里街道地区（歴史的町並み景観形成地区）

地区の概要

本地区は、世界遺産バッファゾンの一部にあたり、将来に向けて、歴史的な町並みの保全と形成が求められています。

目標

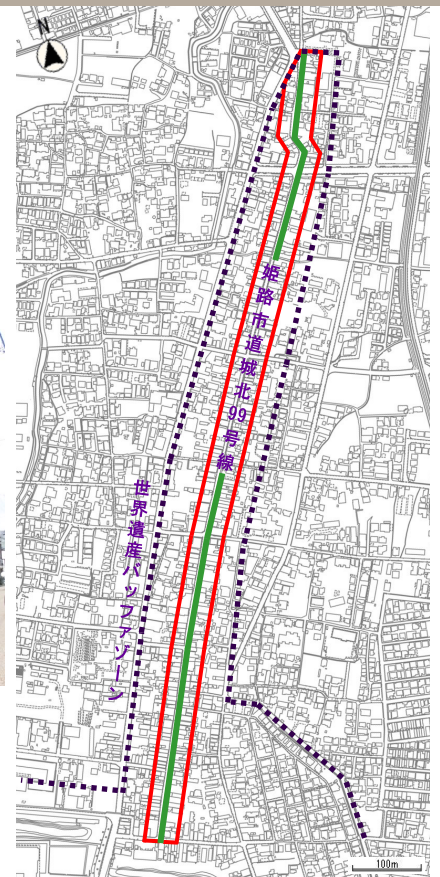
歴史的な町並みに残る地域の生活文化の様式を今に伝え、伝統ある都市の個性を表す町並みの形成を目指します。

方針

- ・歴史的町並みの保全、修景
- ・歴史的建造物の保全、修景
- ・魅力ある商業空間の創出
- ・市民の主体的な景観まちづくりへの支援

区域

姫路市道城北99号線及び当該道路の境界から20mまでの敷地又は空地（世界遺産バッファゾーンとして登録されている区域に限る）



景観形成基準(全ての建築物・工作物等が対象)

※区域内の市道城北99号線から視認できない建築物又は工作物の部分についてはこの限りでない。

一般基準		世界遺産の城下町にふさわしい規模、位置、意匠及び色彩とするよう努め、歴史的な町並みと調和のとれたものとする。	
項目		基準	
建築物	位置	・通りに面する壁面の位置は、歴史的な町並みの連続性に配慮する。やむを得ず通りに面して庭や駐車場等のオープンスペースを設ける場合は、歴史的な町並みとの調和や連続性に配慮する。	
	規模	高さ	・野里街道に面した建物は、原則として2階以下とする。やむを得ず3階以上とする場合は、3階以上の壁面を野里街道の道路境界から5m以上後退させる。
		形態・意匠	・歴史的な町並みとの調和を図る。 ・建物の分棟、壁面の分節化等の工夫により長大壁面となることを避け、突出感や圧迫感を軽減する。
	意匠	屋根・庇	・伝統的な周囲の建物に合わせた向き、勾配とするよう努める。 ・黒又は灰色もしくはこれに近い色彩とする。
		外壁	・基調となる色彩は、無彩色又は茶色系の色彩とする。 ・野里街道に面する外壁のみならず、その他の外壁も一体的な意匠とするよう努める。
		建具	・色彩は、無彩色又は茶色系の色彩とし、外壁と調和したものとす。ただし、ベンガラ等の伝統的な町家の色彩を用いる場合を除く。
	その他	建築設備等	・野里街道から見える位置には、原則として設置しない。やむを得ず見える位置に設置する場合は、覆い措置を講ずるか、形態・材料・色調を工夫し、目立たないように配慮する。
		屋外階段	・野里街道から見える位置には、原則として設置しない。やむを得ず見える位置に設置する場合は、歴史的な町並みに違和感を与えないよう工夫する。
		照明等	・過剰な光源を使用せず、光源の色彩や点滅がけばけばしくならないよう配慮する。
	工作物	意匠	形態・意匠・色彩
位置			・複数機設置する場合は、乱雑とならないよう配置する。
自動販売機	意匠	・企業名・商品名等広告面を極力控えるなど周辺景観との調和に配慮する。	
	色彩	・基調となる色彩は、灰色又は薄い茶色系とし、歴史的な町並みとの調和に配慮する。	
空き地等		・空き地や暫定利用の土地の外周は、通りの景観に調和するような修景に努める。	